

戦傷死 証 明 書 科

一 申 告 者

新島 源 隆

新島 龍 吉 隊

海軍 水 兵 長

[Redacted]

入 籍 番 號

[Redacted]

一 現 住 所

[Redacted]

一 以 死 者

海軍 上 等 技 術 兵

[Redacted]

[Redacted]

一 本 籍 地

[Redacted]

一 遺 族 姓 氏 名

一 戦 傷 死 年 月 日 時 刻

三 十 年 八 月 一 日 午 前 三 時

一 病 名

戦 傷 死

一 戦 死 場 所

比 島 バ タ ン カ ス

一 所 屬 部 隊

三 三 一 戦 艦 隊

一 遺 骨 遺 品 の 處 理

現 地 處 理 (無 し)

戦傷死 証 明 書 科

三 十 年 五 月 戦 傷 一 旦 快 復 し 後 七 月 十 五 日 頃 急 悪 化 死 と す

3256

3256

死 歿者 綢書

本籍地

現住所

所屬部隊

入隊年月

官階

內地臺灣出隊年月

戰地到任年月

勤勞人概要

發給獎章年月日

病者退隊年月日

退隊理由

退隊後之職

右申 各又

本籍地

本籍地

前西方面艦隊司令部 一等兵

昭和十七年五月 及後 二等兵

一等兵

勤勞人概要

昭和二十年八月二日

敵白軍地陣中 腹中 腹中 腹中

腹中 腹中 腹中 腹中

此島 此島 此島 此島

昭和二十一年三月四日

本籍地

氏	所	部	職
名	屬	隊	名
	有官名者填此		
	官名		
	官階		
	由軍中領事		

2940

728

7264

2126 216.14表

記事	消息		略歴			本籍地 居住者	年 月 日	氏名
	親	親	職	給料	採用前			
特	格賞	職	職	給料	採用前			
一善三島	現職 於ア	海軍主計大尉	職 職死 (マラリア)	昭和二十一年八月二日	採用前			
日給 三川七十五	現職 於ア	海軍主計大尉	職 職死 (マラリア)	昭和二十一年八月二日	採用前			

2126

2164

7316

21-7-15 乙種

4 1895

記事
消息
略歴

本籍地
生年月日
職別

第四三海軍工作部理地採用正員調書

第...
...

職別	採用年月日	給料(日給)	職場		職名		備考
			場所	職名	職名	職名	
...
...
...

第百...
...

職病死 (第...)

...

...

256

9127
11-2411

記事	消息		野望		機用年月日	機用場所	機用人員	機用日数
	内容	場所	日時	人員				
與實典	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息
機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息
機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息	機用外消息

第三海軍工作部現地探用人員調査

調査員 〇〇〇

(深海台)

186

元海軍軍屬未復員者調査票

中兵

連絡番号 13

又派遣船名	身分	氏名	生年月日	(本) 現住所
	三施 厚石	[Redacted]	[Redacted]	縣 [Redacted] 市郡 [Redacted] 村町字 [Redacted]
留守担当者	氏名	現住所		
妻	[Redacted]	縣 [Redacted] 市郡 [Redacted] 村町字 [Redacted]		

家族の承知されてある情况

職名	司政官、船医、書記、技 等手、工員、船長、甲板員 等の別を記入して下さい	内所内出港年月日、 下りまき分ら荷いで 下さいます
志願、徴用、現進程		家族送還費の情況と 取扱かつてある経理 部を書いて下さい
採用又は徴用年月日 及部隊名 (船員は船名及船主)		一、部隊が長から何か通 知がありましたか 二、備長から何か通 知がありましたか 三、其の他の通知あり ましたか 以上ありましたら、住所を 書いて下さい
外地勤務の部隊名及 場所		
本人からの最後の手 紙に就いて御記入下 さい	蓋出日附 (年 月 日) 部隊番号 () 受領年月日 (年 月 日) 検閲者印 () 内容	本人の住所を 書いて下さい

歸還者からの情報 (船還者の方は本欄に未処理者個人に対すること、 自分の願してむた部隊の情報も記入して下さい)

未処理者個人に対する情報		船還者の属してむた部隊の情報
情報提供者	部隊 身分 氏名	この欄には所屬部隊の行動、戦闘状況 (艦船事故ならその状 況) を詳しく書いて下さい (特に場所、年月日をぬらない様にして下さい)
同右現住所	[Redacted]	
本人から何れの時 か又別送の荷 状はどれ程度 か状況をどう か下されたい 記入して下さい	比島アゴカニガイ船 20 年 1月 頃 倉下	
船還者でしたらその 状況を本欄に記入し て下さい (死亡か病死なら病 因を記入して下さい)	死 因 戦死 死亡年月日 昭和20年 1月 6 日 死亡の場所 比島アゴカニ 状 況 戦中	
行方不明ならばその 状況を記入して下さい	原 因 年 月 日 場 所	
他に本人の消息をよ く知つておられる 方を知るのであれば 記入して下さい		

732

6535

7242
1988 216-1 公表

記事		瑞 惠		略 歴		本籍地		編年	
姓	名	姓	名	姓	名	姓	名	年	月
海軍	三浦	海軍	三浦	海軍	三浦	海軍	三浦	昭和	二十
大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	八月	十六
海軍	三浦	海軍	三浦	海軍	三浦	海軍	三浦	昭和	二十
大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	八月	十六

海軍三浦軍工作部現地探察員調査書

昭和二十一年八月十六日

1988 216-1

192

6442

死没者調書

本籍地

現住地

所属部隊

入野年月

出野年月

勤勞、職務

病名

死没年月日

死没場所

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

戰死證明書

本籍 [REDACTED]

大才三三護設部

[REDACTED]

右、者大才三三護設部木工班勤務中、此爲
大才及大才、戰死於此戰死也。

右證明又

昭和二十一年一月二十四日

右證明者

[REDACTED]

代表

[REDACTED]

北之雄記書

女指

戸直

長男

海軍水兵長

右 [redacted] 君は自外と一語に昭和十九年三月一日英海軍に先受及集り

入国 [redacted] 氏が同氏は四年三月十日 餉山砲術學校にて新兵教育を受け廿

十八日修了。廿日二十。英海軍団に歸り廿廿九日 [redacted] 隊として三十三特根

に歸り三月三十日英海軍出港し八月十四日ハバオに上陸陸中隊及び昭和二十

年四月二十九日敵米軍 [redacted] 島に上陸糧食を兵隊を捕つる我軍

中攻撃を為め交戦す。戦果甚多し。攻勢に後退 [redacted] 事な

方面に敵軍到着の時陸軍は戦闘開始中なり。我軍は兵

器を攻撃前に後退 [redacted] 事な [redacted] 事な

小銃を捕つて二度と内地に歸り事は出来な [redacted] 事な

いつ何處迄も何處迄も山一山と入りまゝを六月下旬から頭が痛
いと云ひながら一週間程行軍を續けし居りながら「サルボント」山に到
着すとも悪性マラリヤに罹り木の葉で作つた山屋の中に就床す標
になりしなが八月三日頃迄は茶を飲んて食事は服を多くと食
すといふ言ひの儘なが四月頃からは意識が不明となつて茶も食事
もせず言葉も出さなくなり八月六日午後三時頃に死せしむるなり
為死中自分か命抱して居るに如何も申傳へはありませぬといふた
何れ敵の上陸以降は米は一粒もなく食料は少く糧糶をして取ら
たのも食する有様にて茶も不足して部下ならぬ惨状でしな
[] 死せしむるなり [] 死後十八名もほく [] 其の後で
埋葬してよりいふ事な時 [] 隊長は [] 隊長は海軍兵曹長 []
[] 中隊のありしなり [] 中隊のありしなり [] 中隊のありしなり []
出て着て食料不足 [] 中隊のありしなり [] 中隊のありしなり []
報に接し [] 中隊のありしなり [] 中隊のありしなり []

~~32832~~
32832

港を先陣十百三十一。横濱岨港に入港横濱岨工作局夜にて後更の
手續きして上日午九日歸定致し来た「カバオ」港に下士官と兵士は
別ムト有つたのを隊長の動靜は不明です横濱岨工作局夜にて後更
の時 [redacted] 名の死せした事は中一と居りまをん

右の通りで [redacted] 名が「サルトン」山にて昭和二十年八月七日
死せしむたの事を確認致しませ

昭和二十年十一月十五日

本籍 [redacted]

元身 [redacted] 参男

第一捕兵隊海軍一等兵曹 [redacted]

右 [redacted] 面接の調査スルに前書記載と相違なき事ヲ証明ス

昭和二十年十一月十五日

岡田島川上郡中打長 [redacted]

4922

<p>本籍 元</p>	<p>現住 元</p>	<p>所屬部 元</p>	<p>職名 元</p>	<p>勤務地 元</p>	<p>勤務日 元</p>	<p>勤務時間 元</p>	<p>勤務内容 元</p>	<p>備考 元</p>	<p>氏名 元</p>
<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>
<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>
<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>	<p>元 没者 調書</p>

21-7-15 公卷

1928

記号	瑞意	略歴	生年	籍地	職名	現職		備考
						職名	待遇	
英	戦災以外、消息	現職	昭和十一年五月	英領	英領	英領	英領	英領
英	戦災以外、消息	現職	昭和二十一年八月	英領	英領	英領	英領	英領
英	戦災以外、消息	現職	昭和二十一年八月	英領	英領	英領	英領	英領
英	戦災以外、消息	現職	昭和二十一年八月	英領	英領	英領	英領	英領
英	戦災以外、消息	現職	昭和二十一年八月	英領	英領	英領	英領	英領
英	戦災以外、消息	現職	昭和二十一年八月	英領	英領	英領	英領	英領
英	戦災以外、消息	現職	昭和二十一年八月	英領	英領	英領	英領	英領
英	戦災以外、消息	現職	昭和二十一年八月	英領	英領	英領	英領	英領
英	戦災以外、消息	現職	昭和二十一年八月	英領	英領	英領	英領	英領

第百三海軍五作部現地採用士員調書

昭和二十一年八月

267

7278

1805

2171

(件)

証
書

消
息

時
鐘

第百三海軍工廠部現地探用三員調書

第百三海軍工廠部現地探用三員調書

生年月日

大正五年

籍地

探用

探用

探用

探用

探用

探用

我取日時 九月八日

八月八日 訂

2010

病死ハマラリア

比樣續此部ルリシ、ソビテオ

第百三海軍工廠部

海軍工廠大尉

職及以外、消息

職

職

職

職

第百三海軍工廠部(第百三海軍工廠部)

21-11-15 公署

1908

記事	消息		略歴		備考	本籍地	職名	階級	備考
	戦時	戦時以外	戦時	戦時以外					
與賞	戰時以外	戰時	戦時	戦時以外	備考	本籍地	職名	階級	備考
與賞	戰時以外	戰時	戦時	戦時以外	備考	本籍地	職名	階級	備考
與賞	戰時以外	戰時	戦時	戦時以外	備考	本籍地	職名	階級	備考
與賞	戰時以外	戰時	戦時	戦時以外	備考	本籍地	職名	階級	備考

第百三師軍主作部現地操庫工員調書

第百三師軍主作部現地操庫工員調書

3000

47687

香

北戎方朔表

水磨地

鬼生沙

沙何部

入国年月

世年

北戎

戰地

勤務

表

新表

第三十二所別根據地

昭和十四年一月十日

昭和十四年六月十日

昭和十六年十二月二十日

昭和十六年十二月二十日

大獻前上陸營勳車運轉月十日勤勞

昭和十四年

昭和十四年

後藤

元名青口

夕八万部候末籠衣依口 幾北

延和二十年八月十日 夕八万

右申台又

延和二十年五月五日

右籍地

現住所

新居部深

氏名

[Redacted]

右同

第千二部別根藤池依

[Redacted]

定年級 海軍機宜 矢常長

合籍所

[Redacted]

47805

死 故 誌 行

本 籍 地

現 住 所

所 屬 部 隊

入 隊 年 月

官 等 級

內 地 海 陸 出 發 年 月 日

戰 地 到 達 年 月 日

勳 章 概 要

發 病 (受 傷) 年 月 日

病 名 (受 傷 部 位)

發 病 (受 傷) 文 入

發 病 時 の 狀 況

死 亡 年 月 日 時 刻 及 場 所

右 申 告 人

司 所

第一〇二海軍隊

不詳

第一隊 兵種 砲兵

氏 名

入 籍 番 號

昭和十九年八月二十日

昭和十九年十月十日

昭和十九年十月十日... 昭和十九年十月十日... 昭和十九年十月十日...

昭和十九年七月二十一日

左胸足背部... 傷

昭和十九年八月二十日... 昭和十九年八月二十日...

昭和十九年八月二十日... 昭和十九年八月二十日...

昭和十九年八月二十日... 昭和十九年八月二十日...

國史 卷之五 五十一

一 告 申		名 令	
氏 名	所 職	官 等 級	入 郷 番 號
		海軍少尉(陸軍)	不詳(今)百(日)...

備 考

- (一) 本町發ハ配隊員又ハ制勝收改者等ニ於テ吳地方務員局人等無列
- 通報ニ非スト雖ムルモノニ付記載ス
- (二) 吳鎮在籍ノ特務出首、佐士官、下士官、兵ニ付記載ス
- (三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
- (四) 知得シアル範圍ニ於テ出來俣ル限リ所屬ニ記載ス
- (五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル限リハ各該隊員ニ付テ方々記載ス
- (六) 送付先

吳市

吳地方務員局人等記載宛

521-10

7257
21.6.1.14 毒

油		意		略		重		原籍地		生年月日		探用年月日		探用前		公		探用前	
探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前
探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前	探用年月日	探用前

廣西三海軍工作部現地探用生員調查

廣西三海軍工作部現地探用生員調查

21.6.14

72

第百三海軍工作部現地採用工員調査

職名	本籍地	現住地	階級	採用年月日	給料(日給)	勤務時間	勤務場所	現任職務	戦況以外	備考
二等工員	[Redacted]	[Redacted]	採用年月日	給料(日給)	勤務時間	勤務場所	現任職務	戦況以外	備考	備考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	採用年月日	給料(日給)	勤務時間	勤務場所	現任職務	戦況以外	備考	備考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	採用年月日	給料(日給)	勤務時間	勤務場所	現任職務	戦況以外	備考	備考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	採用年月日	給料(日給)	勤務時間	勤務場所	現任職務	戦況以外	備考	備考

(山崎町)

150

證明書

本籍地

[Redacted]

[Redacted]

右之者比島六才在往地。三海軍施設部三軍屬トシテ採
用セシ勤務中昭和貳拾年八月拾日夕方夕方モガシ山中ニ於
テ敵砲彈ノ為ニ戦死シタルトシテ證明ス

昭和貳拾壹年五月廿七日

元一〇三施設部工員

保證人
全上

[Redacted]

[Redacted]

右事實真相違ハキ下モトト認證ス

昭和貳拾壹年五月廿七日

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

戦病死証照資料

一 申告者 三三一没管隊 上技軍

入籍番号

一 現住所

一 死者 海軍上等技術兵

一 本籍地

一 遺族桐柄氏名

一 戦病死年月日時刻 昭和二十年八月十日

一 病名 マラリヤ

一 戦病死場所 比島バタンオラニ

一 所属部隊 三三一没管隊

一 遺骨遺品の整理 現状 処理無し

戦病死當時の状況

比島バタンオラニに於てマラリヤに病せし死也。

67900

海軍軍醫係未師遊吉消以化難... 二十二年 月 日 一 鼓 早 臨

所領明細る依に否利息消		一 段 調 査	知 悉 現 況	二 段 調 査 に よ る	新 判 明 現 況	兵 部 省 持 有 地	本 籍 地	別 姓 氏 宅 持 當 者 柄 住
所 領 明 細	依 に 否							
此 比	萬 圓	部 股	生 年 日 月	同 上 場 所	名 義 者 三 三 頁	上 旬 山 中 に 遊 給 中 二 十 年 八 月 病 歿 す		

385

楯宿郡山川町役場

現認證明書

本籍地

一 塚 藤 村

氏名 藤 村 長 男

一 死亡場所

一 死亡年月日

一 死亡場所

一 死亡年月日

一 死亡場所

一 死亡年月日

一 死亡場所

一 死亡年月日

354-70

8740

記事

瑞意

時歴

本籍地
生年月日
備考

第百三海軍工務部現地採用二員捕書

第百三海軍工務部現地採用二員捕書

35/

職名	採用年月日	採用場所	採用理由	職名		備考
				現任	候補	
大工	昭和二十年八月十五日	現地採用
...

7274 21.7.15 公表

記号	略歴	消息		給料 (日給)	採用年月日	採用前	採用後	採用後
		所属	職名					
1801		第百三海軍工作部現地採用工員調書	第百三海軍工作部現地採用工員調書					
		第百三海軍工作部現地採用工員調書	第百三海軍工作部現地採用工員調書					
		第百三海軍工作部現地採用工員調書	第百三海軍工作部現地採用工員調書					
		第百三海軍工作部現地採用工員調書	第百三海軍工作部現地採用工員調書					
		第百三海軍工作部現地採用工員調書	第百三海軍工作部現地採用工員調書					
		第百三海軍工作部現地採用工員調書	第百三海軍工作部現地採用工員調書					
		第百三海軍工作部現地採用工員調書	第百三海軍工作部現地採用工員調書					

7285

1924

217.15公喜

記事	油	急	略	臺	現任	籍地	年	月	日	階級	部	職	備
					在	地							
夏	檢	現	日	給	探	探	探	探	探	探	探	探	探
夏	檢	現	日	給	探	探	探	探	探	探	探	探	探
夏	檢	現	日	給	探	探	探	探	探	探	探	探	探

第百三海軍工作部現地探田土員調查書

第百三海軍工作部現地探田土員調查書

白生

245

1925
1926

21715 表

記事	端 意	時 登	本籍地	職 務	採用前	採用年月日	給 料 (日給)	戦 日	戦 場	戦 況	戦 傷	戦 死	死 因		其 他	
													原因	場所		
第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠	第百三海軍工廠
...

2508 2021-7-15 公表

証事		消息		略歴		職年		本籍地		職年	
共	給	職	職	職	職	職	職	職	職	職	職
賞	賞	職	職	職	職	職	職	職	職	職	職
共賞	給賞	職賞	職賞	職賞	職賞	職賞	職賞	職賞	職賞	職賞	職賞
職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息
職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息
職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息	職賞以外、消息

第百三海軍工作部現地探用工員(調査)

死没者調書

本籍地	白								
現住所	右								
所属部隊	北野海軍砲臺隊								
入隊年月	昭和十八年九月一日								
官等級	長								
内地赴任年月日									
内地赴任場所									
勤務概要	直任隊員、陸軍隊員、工作職、陸軍								
死没(受傷)年月日	昭和二十一年八月二日								
死没(受傷)場所	コラリア								
死没(受傷)原因	通信隊員として、作戦通信中、中隊病、戦病死								
死没(受傷)場所	昭和二十一年八月二日、コラリア、戦病死								
死没(受傷)原因									
昭和二十一年八月二日									
本籍地									
現住所									
所属部隊	北野海軍砲臺隊								
入隊年月									
官等級	官等級								
内地赴任年月日									
内地赴任場所									
勤務概要									
死没(受傷)年月日									
死没(受傷)場所									
死没(受傷)原因									

- (一) 六朝書史八部長及八流務取探者十夫也下度其向今幸伊志云云
- (二) 美領世類、始務士官、進士官、下士官無有記或云
- (三) 司、承、家、八、勿、論、他、府、某、出、身、者、之、就、于、无、記、或、云
- (四) 志、傳、于、世、範圍、三、於、于、出、未、得、几、限、リ、詳、細、三、記、或、云
- (五) 世、代、言、り、聞、キ、于、承、知、云、几、事、項、各、當、設、欄、二、相、于、方、リ、記、或、云

196-10

49329

死殞者調書

本籍地	
現住所	今 右
所屬部隊	第三十一 特別部隊
官階	佐 兵衛 次 (正)
氏名	
生年月日	昭和五年十月二十四日 (長)
勤勞概要	昭和五年四月... 普通勤勞... 下三官... 兵衛次... 兵衛次... 兵衛次...
死因	病
死時場所	昭和五年十月二十四日 兵衛次 (長)

昭和五年二月二十六日

本籍地	
現住所	今 右
所屬部隊	第三十一 特別部隊
官階	佐 兵衛 次 (正)
氏名	

一、本調書係由死者之遺族或親屬提出，其內容應與事實相符，如有不實之處，應即更正。
 二、本調書係由死者之遺族或親屬提出，其內容應與事實相符，如有不實之處，應即更正。
 三、本調書係由死者之遺族或親屬提出，其內容應與事實相符，如有不實之處，應即更正。
 四、本調書係由死者之遺族或親屬提出，其內容應與事實相符，如有不實之處，應即更正。
 五、本調書係由死者之遺族或親屬提出，其內容應與事實相符，如有不實之處，應即更正。
 六、本調書係由死者之遺族或親屬提出，其內容應與事實相符，如有不實之處，應即更正。
 奉命 某地某機關某局長 完

2415 21.6.1 公表

記事	強急	略	現任	本籍地	知事
<p>賞 典 賞 典</p>	<p>職 及 以 外 消 息</p>	<p>現 任 者 姓 名 職 名</p>	<p>職 名 及 職 階</p>	<p>給 料 一 日 給</p>	<p>採 用 年 月 日</p>
<p>與 賞 典 賞 典 與 賞 典 賞 典</p>	<p>職 及 以 外 消 息</p>	<p>現 任 者 姓 名 職 名</p>	<p>職 名 及 職 階</p>	<p>給 料 一 日 給</p>	<p>採 用 年 月 日</p>

漢百三海軍工作部規程採用工員調書

漢百三海軍工作部規程採用工員調書

2415 21.6.1

180

42438

2161

記事

消息

略歴

年
月
日
籍
地
氏
名

第百三海軍工作部現地探用王員圖書

第百三海軍工作部現地探用王員圖書

籍地	氏名	年 月 日	籍 地	職 務	探 用 年 月 日	給 料 (日給)	日 別 の 費 用	現 在 の 位 置	備 考	戦 況 外 の 消 息	特 記	典 實	略 歴
										戦 況 外 の 消 息	特 記	典 實	略 歴
廣 州	張 某	1942	廣 州	探 用 員	1942.10.15

42438

2161

2427-3

記号		消息				略歴		採用年月日		採用前		採用後		採用後		採用後	
氏名	職	現職	職	職	職	職	職	職	職	職	職	職	職	職	職	職	職
共	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職
共	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職	現職

第五百三海軍工作部現地採用土員簡書

第五百三海軍工作部現地採用土員簡書

(一) (角)

154-13

13267
2424 ✓

漢百三海軍工作部現地採用工員調査

昭和二十年三月

出生年月日	二〇二〇
本籍地	朝鮮
現在居住地	朝鮮
現用年月日	昭和二十年三月五日

略歴

採用年月日

給料(日給)

職名

場所

破産理由

職外消息

給與

記事

社長

漢百三海軍工作部
昭和二十年三月五日
採用
職名
場所
破産理由
職外消息
給與

此律儀 加ふ了か

軍品(武器)

現地
給與
職外消息
給與

(空自局)

5052

死亡年月日時刻及場所

昭和二十一年八月

此ノ島南部ハナハウ於

右 申 持 ス

昭和二十一年 八月二十八日

氏名	所屬部隊	現住所	本籍地	官等職	入隊番號
	三十一師根			水長	

備考

- (一) 本陣番ハ山隊長又ハ強衛取後軍等ニ於テ吳知方復員屬人部部長補綴職シ非スト部
ムルモノノミニ付記候ス
- (二) 吳知在場ノ職務士官・准士官・下士官、兵ニ付記候ス
- (三) 同府隊人ハ勿論他府隊出身者ニ就テモ記候ス
- (四) 知得シアル範圍ニ於テ出来得ル限リ詳細ニ記候ス
- (五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該司ニ相手方ヲ記候ス
- (六) 遺 存 記

吳市

吳知方復員屬人部部長補綴

404.10



現認証明書

厚生省

故 [redacted] 代付山生昭和十八年二月第一三海軍施設
 部知事不取張所 海軍主座と勤務中三月中頃現地微
 用とと當部に入部はしサ、飛行場補修及ガマテ海軍
 飛行場の建設に従事されま。昭和十九年九月米軍
 空襲に依りガマテ市街地は施設全滅に依り園地に入
 及ハ軍要請に依り現地義勇隊中隊長とて物資輸送
 兵舎建設等に従事されま。昭和二十年米軍上陸後
 當部隊自給作戦の爲ガマテ市約六〇軒ガマテ川左岸
 シヤ初ル地帯にて食糧生産及ハ兵舎建設に従事中 築養
 失調に依りマラリヤ病に依り八月死せられた。ハ
 尚當時園地生活状態は兵舎と付云ハ丸太造りの小屋
 に木皮木葉等蓋をしよう著うみ著うまうの状態に
 食糧等は兵軍屋等が塩一日一〇瓦 マリス(マリス)三〇瓦

厚生省

2-13

後ハ甘藷ノ葉ヲ食ベテおもハシ
藥品ハ極度ニ僅少ニテ上級將校用ハ使用シ一般兵
義勇隊員等には余程多量ノ外使用未ダ見セム
右之通り相達シ無可事ヲ證明致シます

昭和三十三年四月三日

現住所

元海軍一〇三施設部ハオオ張所

海軍之屋

FP